

事業計画

内 容 （令和4年度・5年度の事業計画）

< イベント関連事業 >

① 110周年記念事業《R4年度事業》

- 110周年（R4年度）の記念事業について学校、PTAと連携を密にして協議、調整を行い、実施内容が決定すれば、たちばな会として協力をしていく
- 令和4年11月に次のような内容で予定されている
 - 学校行事として、学校体育館において式典を開催
 - 100周年以降の10年分の記録をまとめた簡素・簡潔な記念誌の発行
 - 熱中症対策や老朽化した設備備品など生徒に活動に必要なものを、記念品として購入

② 「富田林寺内町燈路まつり」への参加《R4・5年度共通事業》

- 富田林寺内町一帯で約1,000基の灯籠が、例年8月の最終土曜日に並べられる行事
- 午後6時30分～午後9時の間灯籠に点灯
- たちばな会は「じないまち展望広場」付近に45基の灯籠を設置する
- 灯籠の4面のうち1面にさまざまな文字や水彩画の作品を貼り、道路に並べる
- 令和元度は、現役書道部員の作品に加えて同窓生の作品も出展し、現役生や同窓生の交流を図っており、今後とも引き続き実施する
- 今後は美術部などにも協力を呼びかけ、同窓会と現役生徒とのつながりを広げてゆく

③ 「久しぶりに母校を訪ねてみませんか？」の開催《R4・5年度共通事業》

- 「河南フェスティバル」に合わせて、たちばな会館を開放して実施しているイベントである
- 河南フェスティバルに来校された方々を対象に、卒業アルバムや記念誌などを自由に閲覧できるコーナーの設置や、女学校時代に制作された刺繍の屏風作品を展示し、またペットボトルの冷たい飲み物を提供し、多くの方々が気軽に入りやすい雰囲気作りに努めている
- 年々入場者が増加しており、今後ともPRを行い実施していく
- 把握している学年幹事に対してお知らせのハガキを送付して周知案内する

④ 卒業式関連事業《R4・5年度共通事業》

- 新規卒業生に対する同窓会入会式を、卒業式前日に各クラスの幹事を集めて実施する
- クラス幹事の中から学年幹事2名を選出し、同期会のリーダーや、「たちばな会」との連絡役としての役割を説明する
- 各クラス幹事に「たちばな会」の活動内容などをクラス全員に伝達してもらう
- 卒業式当日は、同窓会会長の祝辞と卒業記念品（卒業証書ホルダー）の贈呈を行う
- 卒業式には50年前の卒業生に列席していただき、代表者から卒業生に花束の贈呈を行う

⑤ 学校、現役生徒、たちばな会の会員の連携による新たなイベントの考案《継続》

- 3者の連携による新たなイベントの企画、考案を行い、河南高校のPRや地域貢献につながる活動を行うことにより、現役生徒には同窓会活動の意義を理解していただき、卒業後の積極的な同窓会活動に繋げていく

< 通年事業 >

① 学年同窓会対象助成金事業

- ・ 2万円を助成（同窓会開催前でも支払い可能 次回の申請は実施から5年の経過後）

② 現役生のクラブ活動激励金の支給

- ・ 全国大会レベルの大会に出場した際に、運営委員会で激励金額を決定して支給する

③ 同窓会合唱団活動

- ・ 「たちばな会混声合唱団」の活動を応援し、助成金を交付する

④ 河内長野支部との連携

- ・ 「たちばな会 河内長野支部」との連携を取り、支部活動に助成する

⑤ 会員名簿の管理業務

- ・ 新規会員データ入力や、変更に伴う情報の修正などを委託業者と連携して実施し、より正確な会員情報の収集を行う

⑥ 会員情報提供業務

- ・ 個人情報使用申請書の記載により会員情報を提供し、同窓会の開催を支援する
- ・ 宛名ラベルの印刷、案内状の発送、出欠者の管理、会場の手配、当日の受付から進行などを、名簿管理委託業者（株式会社サラト）による同窓会支援サービス（有償サービス）の利用により、幹事業務の省力化が図れることを紹介し、同窓会の開催を推進・支援する

⑦ 運営委員会議の開催

- ・ 役員と常任幹事が集まる会議
- ・ 原則奇数月の第1土曜日午後2時～4時及び必要に応じて臨時に開催し、「たちばな会」の様々な案件について協議を行う

⑧ たちばな会館の開館業務

- ・ 原則毎月第1土曜日と第3火曜日の午後1時～4時 役員等が交代で開館業務を行い、会員の来館、電話、FAX、メールなどによる問い合わせに応じる
- ・ 開館日には同窓会の打ち合わせなどにも使用できることを引き続き周知していく

⑨ 会報第16号の発行

- ・ 2か年度中に「会報第16号」を発行する

⑩ 今後の事業展開等についての会議開催

- ・ 役員、常任幹事に加えて幹事にも集まっていたり、今後の事業や「たちばな会」のあり方についての会議を行う